

白神岳、秋田駒ヶ岳

Hiya

期 日：2019年6月24日（月）～27（木） 概ね曇り

コース：【前 日】東京7:36～秋田12:03/13:52～十二湖15:52～白神海彦山彦館(宿)
 【1日目】宿7:02～登山口7:17→マテ山分岐10:08→十二湖分岐12:12→白神岳山頂(避難小屋)12:40
 【2日目】避難小屋5:15→十二湖分岐5:33→登山口10:17→白神岳登山口駅11:23…(奥十二湖へ移動)…秋田17:27
 【3日目】秋田7:16～田沢湖駅8:11～八合目9:15→阿弥陀池→男女岳11:20→焼森→八合目12:52…田沢湖駅14:23

参加者：単独

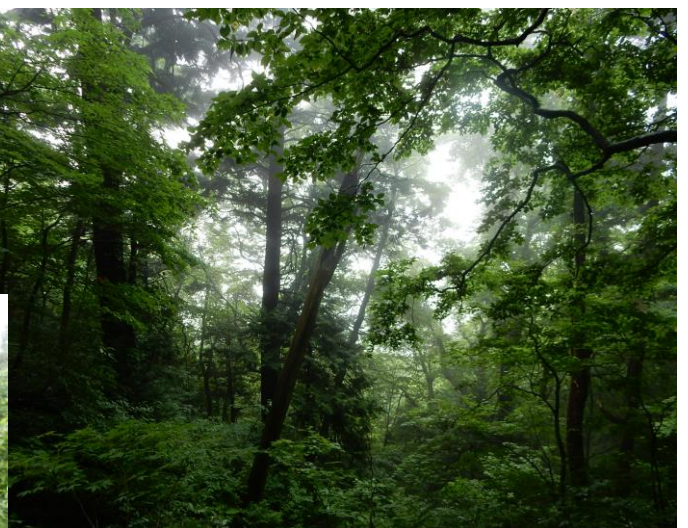
昨年悪天で中止した白神岳・秋田駒ヶ岳山行を再度計画。今回は直前に四日早めたのが幸いし梅雨の合間の山旅を楽しむことが出来た。

【1日目】



十二湖の宿に前泊。JR 駅・登山口送迎付き
地元産品を使った美味しい食事・弁当

登山口の案内板ではマテ山コース 5時間5分
二股コース、十二湖コース共に記載なし



登山口から舗装道を10分歩くと登山道入口
登山届の記帳所がある。登山カードを投函
登山道は木道・ロープあるが鎖場・岩場なし

ブナとヒバの混交林が暫く続き
やがてブナ林となる



最後の水場



水場を過ぎるとブナ林の急登となる



尾根に上がると中間地点のマテ山分岐
但し、マテ山分岐表示及び分岐案内なし



緩やかな登りとなりブナ林が続く



標高 1100m 当たりで森林限界か
白神岳山頂部らしきが見えて来た





主尾根鞍部に十二湖分岐。山頂0.7kmとあるが、十二湖コースに距離表示がない



尾根を南に登ったこの辺りが最高地点1235mの筈だが標識見当たらない



一旦下り登り返すと草地がある
海側を望める場所だがガスで見えない



草むらの中に海側を向いた小祠
白神大権現を祀る



草地の先に立派な公衆トイレ



そのすぐ先に避難小屋。築34年
2600万円の寄付で近く修復予定
先客1名、埼玉からの70歳男性



更にその少し先が白神岳山頂。最高地点より 2m 低い。周囲はガスで見えない



笹藪をかき分け水場に行く。案内標示はない



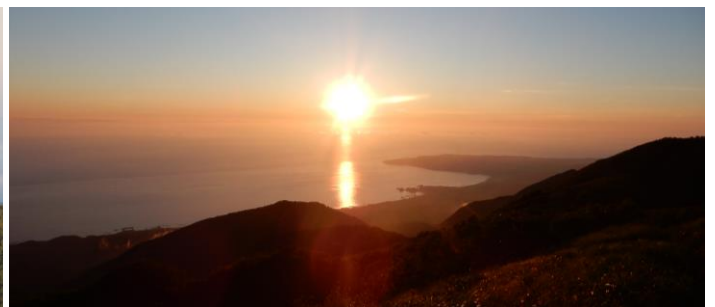
快晴となった。大きい方がトイレ



白神岳山頂部全景と白神山地



岩木山

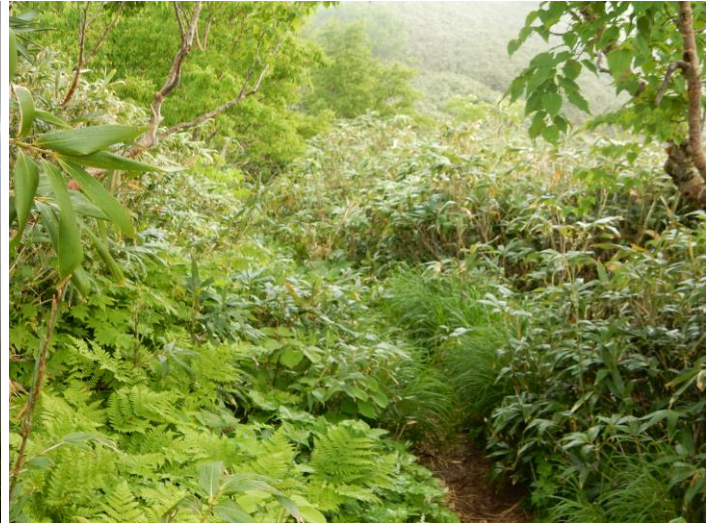


日本海に沈む太陽 日没は7時21分

【2日目】



早めに小屋をでる
風、朝霧あるが上空には青空もある



縦走路に入ると道はひどい笹藪
登山道の手入れなく歩く人少なそう
単独の長時間縦走は止め下りることにする



登山口で一休み後最寄りの JR 駅まで歩く



白神登山口駅から電車、乗合タクシーを
乗り継ぎ奥十二湖へ移動



奥十二湖で青池とブナ原生林を観て回る。青池のブルーは実に美しい

【3日目】



バスは八合目まで入る。午後雨予報なので帰りを早め活動時間は3時間半



高度を上げると八合目周辺が見えてくる



最高峰の男女岳 1637m を左回りに周回する



外側に男岳が見えてきた。今回は割愛する



火口原らしき平原を進む
男女岳はカルデラの外の寄生火山らしい



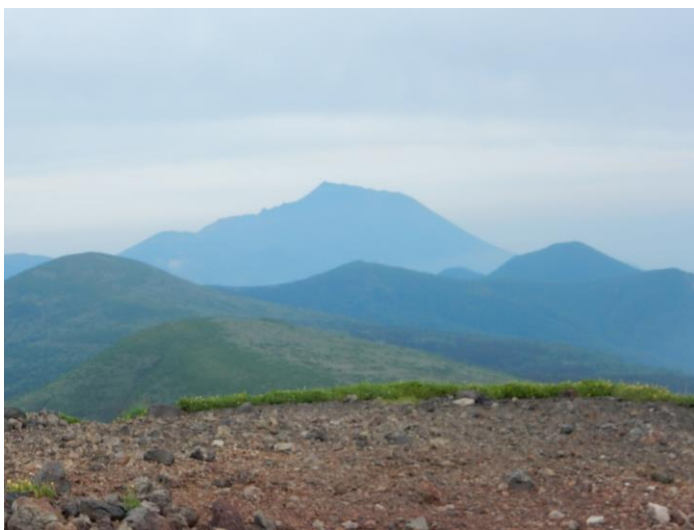
男女岳の山裾には白と黄の花が咲く



更に進むと阿弥陀池と避難小屋



小屋前から山頂まで階段を往復。



山頂から見る岩手山



山頂を下り、横岳を経て焼森に向う
焼森は丸みを帯びた砂礫の山



焼森山頂からは男女岳、男岳、横岳、阿弥陀池が一望できる。
山頂下の分岐からシャクナゲコースに入り八合目に下りた。
バスには何とか間に合った。バスの中で雨となった。